Arakan Workshop on De Novo Si in Matsue 将来デバイスに向けたシリコン系基盤研究の集い ~現役シニアからの発信~ 2014年11月7日(金) 島根大学総合理工学部3号館2階多目的ホール

	題名	講演者
9:00-9:30	CMOSのための現代歪考	水野智久(神奈川大)
9:30-10:00	薄くて強い絶縁膜をめざして	山部紀久夫(筑波大)
10:00-10:30	原子スケール信頼性物理を目指してMOS界面をCP法で探る	土屋敏章(島根大)
10:30-10:45	休憩	
10:45-11:15	Si(001)表面と極薄酸化膜界面の描像	丹羽正昭(東北大)
11:15-11:45	SiO ₂ とGeO ₂ は何が違うのだろうか	鳥海 明(東京大)
11:45-12:15	個別ドーパント原子のSiデバイスへの応用	田部道晴(静岡大)
12:15-13:30	昼食	
13:30-14:00	CMOS技術の将来に向けて	最上 徹(PETRA)
14:00-14:30	シリコンフォトニクスによるバイオセンサー	横山 新(広島大)
14:30-15:00	スパッタエピキシーとデバイス応用	須田良幸(東京農工大)
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:45	多層配線からワイヤレス?	吉川公麿(広島大)
15:45-16:15	SiGe系非晶質膜の低温結晶化と素子応用	松尾直人(兵庫県立大)
16:15-16:45	GeSn系IV族半導体の面白さ	財満鎭明(名古屋大)
17:20-17:50	送迎バスで懇親会場(きまち湯治村)に移動	
17:50-19:00	源泉掛け流しの「大森の湯」で温泉をお楽しみ下さい	
19:00-21:00	懇親会(いろり茶屋)	
21:00	送迎バスでJR松江駅まで	

主催:応用物理学会中国四国支部

共催:IEEE EDS-Japan (予定)